

# 監督・競技者注意事項

1. 競技規則について  
この大会は 2024 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項（注意事項）により実施する。また参加者の年齢段階を考慮し、教育的配慮のもと進行する。
2. 練習について
  - (1) 監督・コーチの付き添いのもと事故防止に努めること。
  - (2) サブ競技場の閉門時間は最終種目終了の 30 分後とする。
  - (3) サブ競技場への入場制限は行わないが、保護者のトラック、フィールドへの立入りは禁止する。
  - (4) サブ競技場の器具庫への入室は禁止する。
  - (5) 雨天走路を待機場所として使用する事は禁止する。
  - (6) 天候不良に伴い主催者側の判断で雨天走路の一部を待機場所として認める場合がある。
  - (7) サブ競技場でのテント使用を許可するが、端の方へ寄せて設置すること。
3. 競技場について
  - (1) 競技用靴は、運動用シューズまたはスパイクとする。（素足は禁止）
  - (2) スパイクのピンの長さは、全種目 9 mm 以下とする。
  - (3) 日本陸連が定めるシューズ規則については、それを適用しない。
4. 監督会議について
  - (1) 大会当日 7 時 45 分よりメイン競技場雨天走路内にて行う。
  - (2) 監督(チーム代表者)はプログラムを持参の上、必ず出席のこと。
5. プログラムの訂正について  
「プログラム訂正申請書」を本部総務(越村)に午前 8 時 00 分(監督者会議終了時)までに提出すること。ただし、競技者の変更はできない。
6. アスリートビブス（ゼッケン）について
  - (1) 本部より配布する。（男子黒文字，女子赤文字）
  - (2) 胸と背の両方にはっきり見えるように付けること。
7. 招集について
  - (1) 招集所は 100 m スタート側の雨天走路内に設置する。
  - (2) 招集完了時刻に遅れないこと。
  - (3) 競技日程の招集完了時間を厳守して集合する。
  - (4) 完了時刻に間に合わない場合は、棄権とみなすので、充分注意すること。
  - (5) 招集所には、競技に出られる服装（アスリートビブスを付けた状態）で集合する。
  - (6) 招集所でレーンの腰ナンバーシールを受け取り、右腰のやや後方に付ける。
  - (7) 招集所には指導者の入場を許可するが、保護者の入場を禁止する。
  - (8) 招集場所からの指導者の応援は禁止する

(9)欠場する場合は第1ゲート通路に貼り出されたスタートリストに横線を引くこと。

8. トラック競技について

- (1)スタートはクラウチングスタートとし、スタンディングスタートは認めない。
- (2)同じ競技者が2回不正スタートした場合、その競技者を失格とし、オープン参加として走らせる。
- (3)リレー競技のオーダー用紙と友好100m競技者出場について
  - ・リレーオーダー用紙と友好100m競技者名を所定の用紙に記入し、監督会議終了後に競技者係に提出する。完了時間は9時とする。
  - ・オーダー用紙を提出後、怪我などで、やむを得ずメンバーの変更が生じた場合は大会総務(越村)に連絡し、医師(医務員)の診断を受け、大会本部が認めた場合のみ友好レースに出場する競技者に変更することができる。
- (4)リレーは6名編成とし、リレー競技男女各2名・友好レース男女各1名とする。6名以外の選手の追加変更等はできない。
- (5)リレーで出場要件を満たさない場合は、残りの人数は友好100mに出場できる。

9. フィールド競技について

- (1)試技順はプログラム記載のとおりとする。
- (2)コーチングエリアを設けるので、エリア内で指導すること。コーチングエリアには指導者のみが入る事が出来る。指導者以外のコーチングを認めない。
- (3)走高跳
  - ・マットへの着地は足裏からとし、背や腰などの着地は無効試技とする。
  - ・試技回数は同一高さにおいて2回までとする。
  - ・競技場所は第2曲走路側とする。(変更がある場合は報告する)
  - ・バーの上げ方は次のとおりとする。

男子 90cm(練習) 95cm 1m00 1m05 1m10 1m15 1m20 その後3cmずつ

女子 90cm(練習) 95cm 1m00 1m05 1m10 1m15 その後3cmずつ

(4)走幅跳

- ・2回の試技を行い、最高記録を採点する。
- ・競技場所はメインスタンド前ピットとする。(変更がある場合は報告する)

(5)ジャベリックボール投

- ・全員2回の試技とする。競技場所は第1曲走路側とし、助走は15m以内とする。

10. 記録・番組編成結果の発表について

大型映像および正面玄関右の窓に記録掲示をする。

11. 抗議について

抗議はTIC(本部室総務)で受付する。その後、競技役員の指示に従い待機する。抗議は監督(チーム代表者)が行うこととする。

12. 怪我への対応について
  - (1)救護については、医務室を使用する。応急処置は大会本部で行う。
  - (2)競技中に起きた選手の傷病疾病については、緊急措置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。傷害は各自で加入すること。
  
13. 写真、ビデオ等の撮影について
  - (1)盗撮防止措置として、スタート後方・跳躍競技正面からの撮影は禁止する。
  - (2)盗撮行為を発見した場合は本部まで連絡願います。
  
14. 応援について
  - (1)集団応援はバックスタンドの中段から上で行う。
  - (2)フィールド競技などに支障のある場合は集団応援は行わないこと。
  - (3)応援について審判から注意があった場合は、速やかに従うこと。
  
15. 決勝順位の決定・表彰について
  - (1)各種目 8 位までを表彰する。  
5.6 年 100mの予選はタイムレースとし、1～8 位は A 決勝、9～16 位は B 決勝に進出する。
  - (2)トラック競技では 1000 分の 1 まで判定し着順をつけるが、それでも同着の場合は同順位とする。
  - (3)表彰時刻はタイムテーブル右に記載の通りとする。入賞者はその時刻までにロビーに集合する。正面玄関前で表彰する。
  
16. テント設営・横断幕設置について
  - (1)テント設営はメインスタンド、サイドスタンド、バックスタンド中段より下での設置は禁止する。
  - (2)横断幕については、メインスタンド、バックスタンド中心部と 100m 直走路後方と前方は禁止する。設置場所はスタンド中心部より上部での設置とする。
  
17. その他
  - (1)駐車場については、公園内 P2～P6 駐車場を使用すること。
  - (2)開会式には、各チーム選手 1 名以上、指導者 1 名以上が参加すること。
    - ・雨天の場合はアナウンス使用の開会式に切り替えます。
    - ・選手宣誓者（今年度は小松市が代表）は 8 時 20 分に本部受付に指導者が引率願います。
  - (3)ゴミは必ず持ち帰りをすること。また、競技場内、練習会場、スタンドなど環境 整美に心がけ、すすんで清掃活動に努めること。